



基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

かわせみ

R5年度
春号
VOL.56



◆音声外科センターがOPENしました！

◆新任及び退職医師のお知らせ



ご挨拶

後藤 功 (ごとう いさお)

副院長 兼 主任部長 兼 薬剤部長

平成2年4月より呼吸器内科を中心に診療しています。ただこの3年は新型コロナウイルス感染症対策に振り回され、ようやく落ち着いてきたところです。

近隣の病院で呼吸器内科の閉鎖が続き、たくさんのご紹介をいただきながら、人手不足で十分に対応できませんでした。令和5年4月からは増員となりますので、今後はしっかりと紹介患者さんの対応にあたりたいと思います。

呼吸器領域も新規薬剤が続々と開発され、肺がんに対する分子標的薬、免疫療法、気管支喘息に対する生物学的製剤、間質性肺疾患に対する抗線維化療法などが出てきましたが、当院ではいずれも対応可能です。新しい効果の高い治療を希望される患者さんがいれば、ご紹介ください。

現在、コロナ病床は縮小していますが、引き続き新型コロナウイルス感染症の患者さんにも対応させていただきます。またこの夏にはHCUが開設となり、診療が可能となる患者さんの範囲も広がる予定です。今後ともご協力、ご支援の程よろしく申し上げます。

音声外科センターのご紹介

耳鼻咽喉科では耳・鼻・咽喉頭・頭頸部の幅広い疾患を取り扱います。そのなかで声の病気や気道狭窄などに対して行う手術が音声外科手術になります。対象は図1などになりますが、実際治療となると図2などの声帯ポリープなどを除けば専門的に治療できる施設が大学病院でも対応出来ない、手術などでは治せないと言われて患者さんの行き場がないということも少なくありません。当院では昨年から音声外科に関して、他院であまり取り扱っていない声帯麻痺や痙攣性発声障害、声の高さ障害などの患者さんに対して喉頭枠組み手術を開始いたしました。

癌(甲状腺や食道、肺など)や胸部大動脈瘤、脳梗塞などで反回神経が障害されて起こる片側性声帯麻痺に関しては甲状軟骨形成術Ⅱ型+披裂軟骨内転術を昨年だけでも10例以上の患者さんに手術を施行しました。声が抜けて大きな声が出せなかった方が通常会話可能となり、皆さんに喜ばれております。(こちらに関しては、昨年のかわけみVOL.52に一部掲載がありますので参考にさせていただけたら幸いです)



音声外科センター 対象疾患

- 1 声帯麻痺 2 痙攣性発声障害
- 3 声の高さの障害(変声障害、性同一性障害)
- 4 声帯萎縮、声帯癒痕 5 声帯ポリープ、声帯結節、ポリープ様声帯
- 6 喉頭外傷や癒着、癒痕など
- 7 その他炎症性疾患など種々発声障害

図1

また内転型痙攣性発声障害に関しては、全国的にもまだ取得医が少ないチタンブリッジを用いた喉頭形成手術実施医認定を、主任部長の津が取得しております。このチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術Ⅱ型は、日本でも有数の手術症例数を誇ります。この手術は図3のように、発声時に声帯の筋肉が痙攣して声帯間が過度につまって声がつまる、ふるえてしまう方に、甲状軟骨上下にチタンブリッジを留置して小さな隙間を設け、声のつまりを改善する手術です。術後は図4のごとく声のつまり

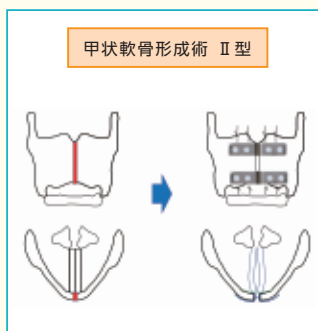


図3

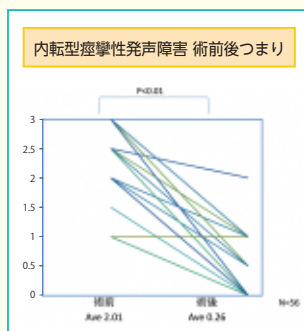


図4

声帯ポリープ

術前

術後

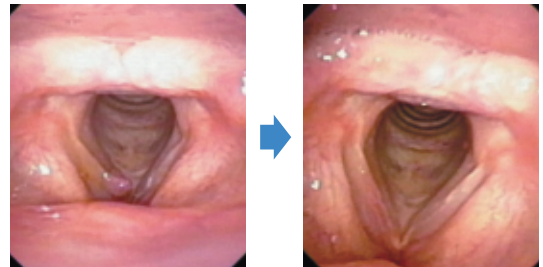


図2

は軽快しており、当院でも昨年2例施行しております。手術を受けることに抵抗のある方に対しても、まずはボツリヌス毒素の注射投与を行い、効果のみて手術を行うか検討、ご相談させていただいております。

徐々に音声外科手術症例数が増えておりますが、まだまだ潜在的にお悩みを抱えておられる患者さんは北河内にとどまらず、大阪、近畿圏内にも多数おられます。そういった患者さんのお悩みを我々の手術で少しでも良い方向に導けたらとの思いから、本年1月より当院耳鼻咽喉科内に音声外科センターを開院いたしました。自分や家族は対象になるのだろうか、また近隣医院様においてもかかりつけの患者さんで声が悪い人がいるがどこに紹介して良いかわからない、などお困りでしたら、一度当院にご相談いただければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

新任医師及び退職医師のお知らせ

谷口 昌志

(たにくち まさし)

令和5年4月1日着任

小児科部長



この度は、小児科に着任致しました谷口昌志と申します。年齢を問わず全ての重症患者さんの診療ができるよう、これまで小児専門病院や救命救急センターやICU(集中治療室)など多くの施設で研鑽して参りました。これらの経験を活かし、お子さんやご家族に信頼して頂けるような迅速かつ丁寧な診療を心掛けたいと思います。

趣味は、ラグビー観戦(特に高校ラグビー)と食べ歩きです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

趣味は、ラグビー観戦(特に高校ラグビー)と食べ歩きです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

出口 志保

(でぐち しほ)

令和5年4月1日着任

麻酔科部長



大阪医科薬科大学卒業後15年経ち、2023年4月より麻酔科に着任致しました出口志保と申します。大阪医科薬科大学病院では主に、手術麻酔と集中治療に携わってきました。これまでの知識と医療を皆さんに提供できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

趣味は、家族でキャンプをすることに最近ハマっています。

趣味は、家族でキャンプをすることに最近ハマっています。

サンフォード 舞子

(サンフォード まいこ)

令和5年4月1日着任

消化器外科
副部長



2016年までの約4年間「大関舞子」という名前で、こちらで働かせていただいております。その後は、大阪医科薬科大学・大学院での研究や胃カメラ・大腸カメラに特化した藤田胃腸科病院、高槻赤十字病院での臨床経験を積み、今回再び市立ひらかた病院で働かせて

いただくことになりました。現在は一児の母となり、仕事と育児との両立をしながら、これまでの経験を活かして、一人でも多くの患者さんが笑顔になれるよう、お手伝いができればと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

田辺 一稀

(たなべ かずき)

令和5年4月1日着任

糖尿病・
内分泌内科 医員



この度は、内科に着任致しました田辺一稀と申します。大阪医科薬科大学の血液内科に入局後、白血病や悪性リンパ腫などの移植治療に従事していました。地元である枚方の皆様にお役に立てるよう、丁寧な診察を心掛けていきます。

何卒よろしくお願い致します。

藤吉 秀樹

(ふじよし ひでき)

令和5年4月1日着任

循環器内科 医員



この度、循環器内科に着任致しました藤吉秀樹と申します。不整脈、冠動脈疾患、抹消動脈疾患、心不全など循環器疾患に幅広く対応させて頂きます。まだまだ半人前ですが、地域の先生方とともに地域医療に貢献していけるように、日々努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

この度、循環器内科に着任致しました藤吉秀樹と申します。不整脈、冠動脈疾患、抹消動脈疾患、心不全など循環器疾患に幅広く対応させて頂きます。まだまだ半人前ですが、地域の先生方とともに地域医療に貢献していけるように、日々努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

石川 渚

(いしかわ なぎさ)

令和5年4月1日着任

産婦人科 医員



この度、産婦人科に着任致しました石川渚と申します。大阪医科薬科大学に入局後、昨年度から市立ひらかた病院で診察させていただいております。外来では、主に産科外来を担当させていただきます。妊娠期間から産後まで妊婦さん一人ひとりが安心して出産をしていただけるよう、様々な不安に寄り添いながら診療を行っていきます。また、妊娠中の合併症についても他診療科の先生方とも協力し、より安全な出産ができるように努めていきたいと考えています。お気軽に相談していただけるような診療を目指して、日々精進していきながら婦人科診療も継続してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

この度、産婦人科に着任致しました石川渚と申します。大阪医科薬科大学に入局後、昨年度から市立ひらかた病院で診察させていただいております。外来では、主に産科外来を担当させていただきます。妊娠期間から産後まで妊婦さん一人ひとりが安心して出産をしていただけるよう、様々な不安に寄り添いながら診療を行っていきます。また、妊娠中の合併症についても他診療科の先生方とも協力し、より安全な出産ができるように努めていきたいと考えています。お気軽に相談していただけるような診療を目指して、日々精進していきながら婦人科診療も継続してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

3月末をもって退職いたしました。ありがとうございました。

救急科 小林 正直、小児科 野村 昇平、小児科 松田 卓也、乳腺・内分泌外科 高島 祐子、消化器外科 沼本 諒、消化器内科 勘代 直志、消化器内科 鈴鹿 真理

登録医療機関のご案内

当院と連携している先生をご紹介します

先生
教えてください！

大星クリニック

勤務の経緯

私は、北アルプスの山々に囲まれた長野県松本市に生まれ、その後東京、アメリカ留学を経て、2011年以降は関西に住んでいます。専門の透析治療の他に、かつて携わっていた一般内科や腎臓内科にも従事したいと考え、1年前に大星クリニック院長に着任しました。

患者さんへのアピールポイント

国民皆保険の我が国では、どの地域でも同じような医療を受けられます。しかし患者さんには健康に対する様々なお考えがございます。また患者さんがお考えになる大切にしたい事も様々です。患者さん一人ひとりへの対応を心掛けています。親切なスタッフと共に、皆さんの健康に貢献できたらと願っています。

趣味

バイオリン演奏です。また最近では、運動に熱心な患者さんの影響で、太極拳を始めました。健康に向けて大好きなワインを控えつつ、週末の太極拳を楽しんでいます。



江藤 洋子 先生



住 所 枚方市中宮本町7-15
電話番号 072-805-0055
診療科 内科・腎臓内科

奥田歯科医院

開業の経緯

様々な世代の患者さんが気軽に来院できるホームドクターを目指して、平成3年12月に枚方市津田西町で開業しました。

患者さんへのアピールポイント

当院は、患者さんの健康寿命を伸ばすお手伝いを少しでもさせていただきたいと考えています。これからは、鼻呼吸を促すための子供の矯正や義歯装着後の食事指導、睡眠時無呼吸症候群の簡単な検査やマウスピース治療などに力を入れていきたいと考えています。

趣味

最近、休日は近くの山(国見山と交野山)に早朝ハイキングに行きます。国見山と交野山の間にある白旗池のほとりで、静かな池を眺めながらお茶をしている時間が好きです。



奥田 裕久 先生



住 所 枚方市津田西町2-33-5
電話番号 072-859-0778
診療科 歯科